

地元団体約450人が参加した。

竹送りは戦後一時途絶えていたが、1978年に地域グループ「山城松明講社」が復活させ、今年で35回目。一行はこの日、京田辺市の竹林で掘り起こした計8本を奈良市奈良阪町まで車で運搬。二月堂まで約4キロの道のりを肩に担いで歩いた。京田辺シユタイナ―学校の4年17人も「郷土学」の一環で参加。浅岡幾一郎君(10)は「肩が痛くなつた。昔の人はトラックとかで運べないからもっと大変だったと思う」と話した。

二月堂へ竹送り 児童も「助っ人」

京都・京田辺の8本

東大寺二月堂の修しゆ二に会え
(お水取り)で使う松明たいまつの竹を京都から届ける「竹送り」が11日あり、小学生や

